SAMSON

取扱説明書 Version 1.0

CONCERT 88

CONCERT 288

株式会社 サウンドハウス
〒286-0825　千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

Doc.# SHD840-C

©2019 Sound House Inc.

## 記号の説明

感電の危険性があります。カバーを開けないでください。

危険をユーザーに警告しています。製品内の電圧により、感電の危険性があります。

安全にご使用いただくためにマニュアルの指示に従ってください。

## 安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中にいれないでください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。
5. メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
6. 本体の通気口をふさがないよう、マニュアルの指示に従って設置してください。
7. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
8. 製品受領時に外部に損傷（電源ケーブル等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れが有ります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合が有ります。
9. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
10. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時は電源アダプターを抜いてください。
11. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
12. 地域の法律に沿ってご使用ください。
13. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

 ©2019 Sound House Inc.

# 目次

記号の説明.....2
安全上の重要事項.....2
主な特徴.....4
詳細仕様.....5
同梱品.....6
各部の名称.....8
クイック・スタート.....15
ラックマウント.....18
チャンネル・プラン.....20
トラブルシューティング.....21

 ©2019 Sound House Inc.

## 主な特徴

ボーカルやプレゼンテーションなど様々なシーンで使用できる、シンプルな操作性と優れたコストパフォーマンスを誇るワイヤレスシステムです。16 チャンネルから任意のチャンネルを選択して使用することができます。

### 特徴

- 新スプリアス規格適合品
- ハイパフォーマンス・UHF ワイヤレスシステム

### CR88 / 288 ワイヤレスレシーバー

- 耐電波障害に優れた、チャンネル切り替えが可能なシステム
- 同時使用可能数 4 波　※最良の環境下では最大 6 波まで使用可能
- トーンキーとミュート回路でドロップアウト時のノイズをミュートします。
- 赤外線による送信機と受信機のチャンネルリンク機能
- バランス XLR 出力と 1/4"アンバランス出力

### CH88 / 288 ハンドヘルド・トランスミッター

- Q6 ダイナミックマイク・カプセル搭載
- 2 x 単三電池で 8 時間連続使用が可能
- 91m の動作レンジ

同梱物：1/4" オーディオケーブル、専用 AC アダプター、ラックマウントキット

 ©2019 Sound House Inc.

## 詳細仕様

システム

| | |
|---|---|
| 送受信距離 | 100m（見通し） |
| 周波数特性 | 50Hz – 15kHz |
| T.H.D（Overall） | ＜1%（@AF 1kHz、RF 46 dBu） |
| ダイナミックレンジ | ＞100dB A-weighted |
| SN 比 | ＞85dB |
| 動作周囲温度 | -10℃～+60℃ |
| トーンキー周波数 | 32.768 |

CB88 / 288 ベルトパック・トランスミッター

| | |
|---|---|
| 入力端子 | ミニ XLR（3 ピン） |
| 入力インピーダンス | 1MΩ |
| 入力ゲイン幅 | 38dB |
| RF パワー | 10mW EIRP |
| 電源 | 単 3 電池x2 |
| 電池寿命 | 8 時間 |
| 寸法（HxLxD） | 96mm x 62mm x 18.5mm |
| 質量 | 93g |

CH88 / 288 ハンドヘルド・トランスミッター

| | |
|---|---|
| マイク | Q6 ダイナミックマイク |
| 入力ゲイン幅 | 38dB |
| RF パワー | 10mW EIRP |
| 電源 | 単 3 電池x2 |
| 電池寿命 | 8 時間 |
| 寸法（HxΦ） | 260mm x 54mm |
| 質量 | 218g |

 ©2019 Sound House Inc.

CR88 レシーバー

| | |
|---|---|
| オーディオ出力レベル | アンバランス+14dB |
| オーディオ出力レベル | バランス+9dB |
| オーディオ出力<br>インピーダンス | アンバランス 810Ω |
| オーディオ出力<br>インピーダンス | バランス 24Ω |
| 感度 | -100dBm / 20dB SINAD（SN 比） |
| イメージ周波数抑圧比 | >50dB |
| 電源 | 15VDC 300mA |
| 寸法（HxLxD） | 210mm x 125mm x 44mm |
| 質量 | 450g |

※仕様は予告なく変更になる場合がございます。

## 同梱品

### 全シリーズ共通

- 電源
- オーディオケーブル（フォン-フォン）
- 19 インチ・ラックマウント・キット
- 日本語マニュアル

### シングル・システム

ハンドヘルド・システム

- レシーバー（CR88）
- ハンドヘルド型トランスミッター（CH88）＋ダイナミックマイク（Q6）ヘッド

ヘッドセット・システム

- レシーバー（CR88）
- ベルトパック型トランスミッター（CB88）
- ヘッドセット型マイク（HS5）w/ ミニ XLR コネクター

ラベリア・システム

- レシーバー（CR88）
- ベルトパック型トランスミッター（CB88）

 ©2019 Sound House Inc.

- ラベリア型マイク（LM5）w/ ミニ XLR コネクター
- タイピン用クリップ

楽器システム

- レシーバー（CR88）
- ベルトパック型トランスミッター（CB88）
- 楽器用ケーブル（1/4” - ミニ XLR）

## デュアル・システム

デュアルハンドヘルド・システム

- レシーバー（CR288）
- ハンドヘルド型トランスミッター（CH288）＋ダイナミックマイク（Q6）ヘッド x 2

プロコンボ・システム

- レシーバー（CR288）
- ハンドヘルド型トランスミッター（CH288）＋ダイナミックマイク（Q6）ヘッド
- ベルトパック型トランスミッター（CB288）

オールインワン・コンボ・システム

- レシーバー（CR288）
- ハンドヘルド型トランスミッター（CH288）＋ダイナミック仕様カプセル（Q6）x 2
- ベルトパック型トランスミッター（CB288）
- ヘッドセット（HS5）w/ ミニ XLR コネクター
- ラベリア（LM5）w/ ミニ XLR コネクター
- イヤーセット・マイク（SE10）w/ ミニ XLR コネクター

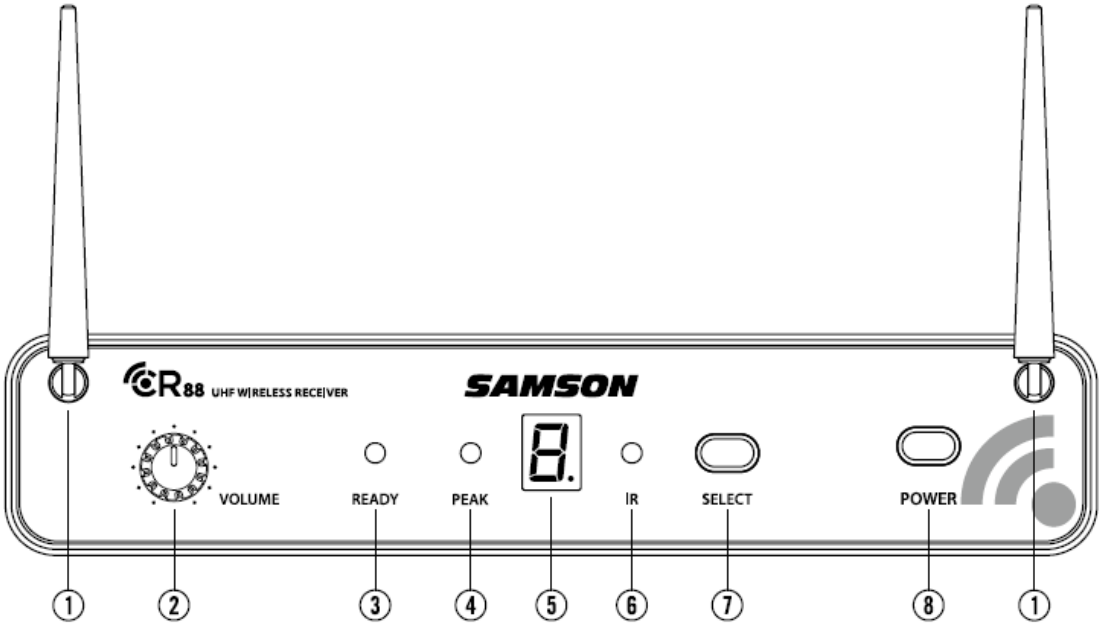
プレゼンテーション・システム

- レシーバー（CR288）
- ベルトパック型トランスミッター（CB288）x 2
- ヘッドセット（HS5）x 2
- ラベリア（LM5）x 2

 ©2019 Sound House Inc.

## 各部の名称

### CR88 レシーバー・フロントパネル

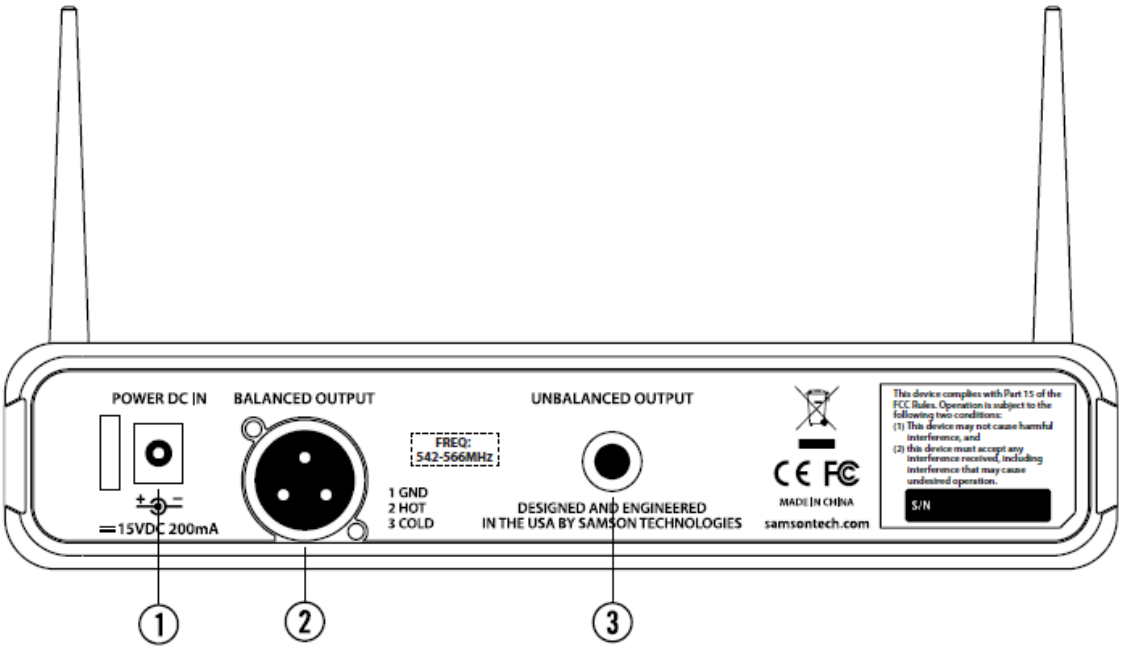



1. アンテナ
   最適な受信状態にするため回転させることができます。通常は両方のアンテナを垂直に立てて使用ください。搬送するときはアンテナを内側に収納することが可能です。
2. VOLUME
   リアパネルの出力端子から出力される信号レベルを調整します。ツマミが 10 の位置でリファレンスレベルになります。
3. READY
   RF 信号を受信しているとき緑色に点灯します。
4. PEAK
   受信したオーディオ信号がオーバーロードになったとき赤色に点灯します。
5. ７セグメント LED ディスプレイ
   使用中のチャンネルを表示します。
6. IR
   トランスミッターにチャンネル情報を転送するときに使用する赤外線通信ポートです。
7. 使用するチャンネルを切り替えます。長押しすると赤外線通信によりチャンネル情報をトランスミッターに転送します。

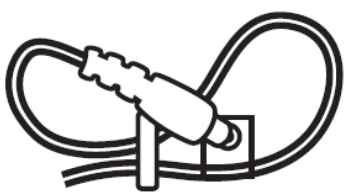
 ©2019 Sound House Inc.

8. VOLUME（CH B）
   リアパネルにある CH B から出力される信号レベルを調整します。ツマミが 10 の位置でリファレンスレベルになります。
9. POWER
   本製品の電源を ON/OFF します。

CR88 レシーバー・リアパネル



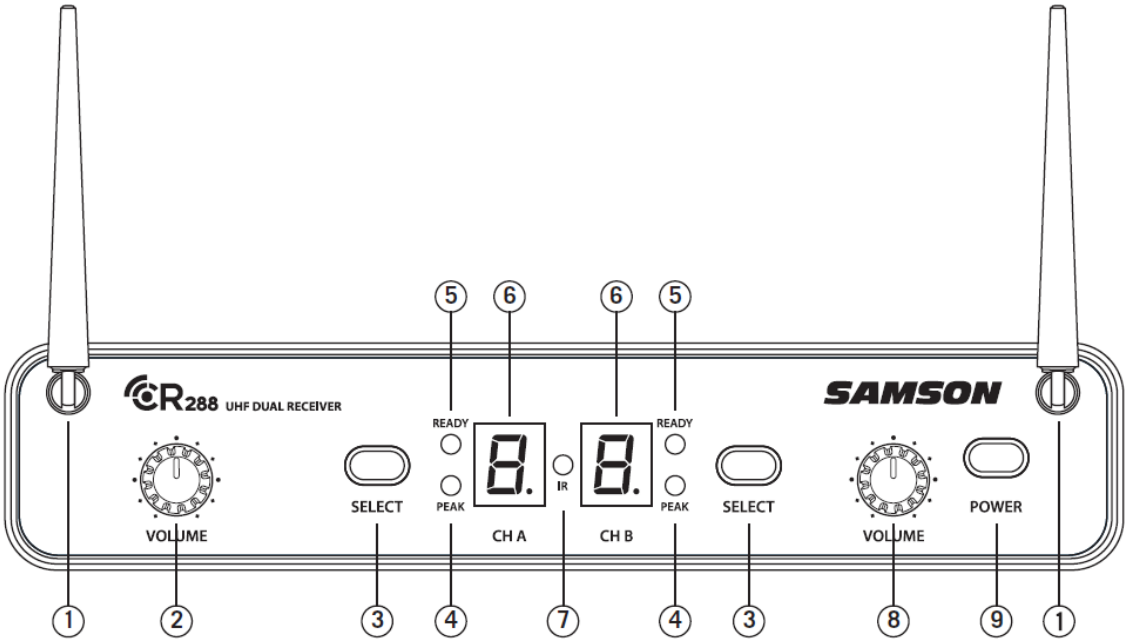

1. POWER DC IN（パワーイン）
   電源アダプターを接続します。
2. BALANCED OUTPUT（バランス出力）
   ロー・インピーダンス（600Ω）の XLR 出力端子（バランス）です。プロ用機器（＋4dBu）と接続するときに使用します。
   ピン配列：ピン 1（グラウンド）、ピン 2（ホット）、ピン 3（コールド）
3. UNBALANCED OUTPUT（アンバランス出力）
   ハイ・インピーダンス（5ｋΩ）のフォン端子（アンバランス）です。民生機器（－10dBV）と接続するときに使用します。
   ピン配列：チップ（ホット）、スリーブ（コールド）



左図のように、電源アダプターのケーブルを固定金具に通すと、抜けを防止することができます。

 ©2019 Sound House Inc.

CR288 レシーバー・フロントパネル

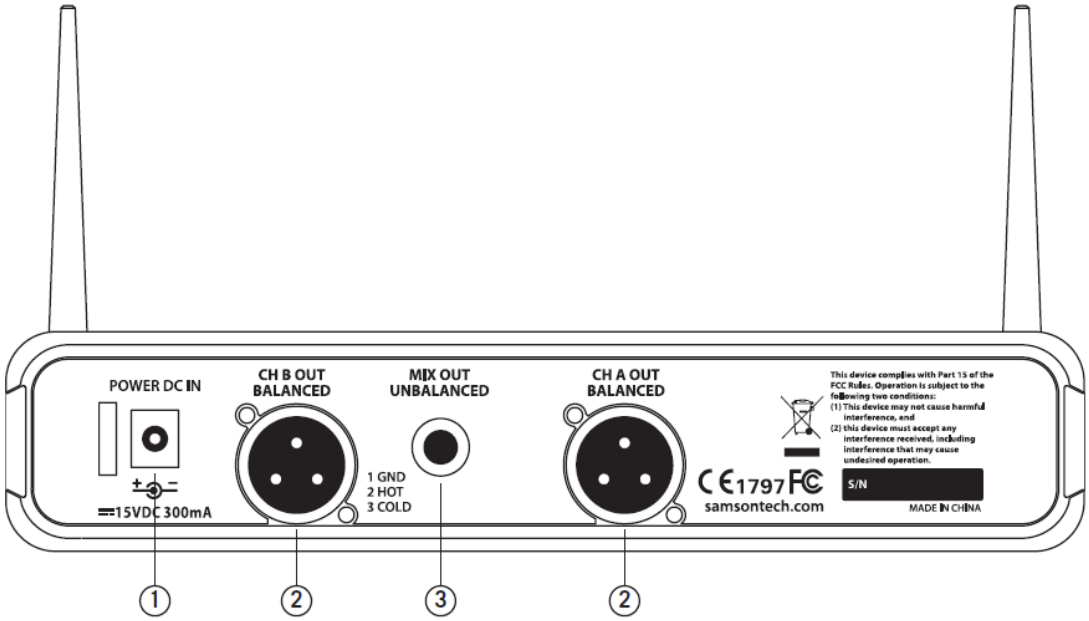



1. アンテナ
   最適な受信状態にするため回転させることができます。通常は両方のアンテナを垂直に立てて使用ください。搬送するときはアンテナを内側に収納することも可能です。
2. VOLUME（CH A）
   リアパネルにある CH A から出力される信号レベルを調整します。ツマミを 10 の位置まで回すとリファレンスレベルになります。
3. SELECT
   使用するチャンネルを切り替えます。長押しすると赤外線通信によりチャンネル情報をトランスミッターに転送します。
4. PEAK
   受信したオーディオ信号がオーバーロードになったとき赤色に点灯します。
5. READY
   RF 信号を受信しているとき緑色に点灯します。
6. ７セグメント LED ディスプレイ
   使用中のチャンネルを表示します。
7. IR
   トランスミッターにチャンネル情報を転送するときに使用する赤外線通信ポートです。
8. VOLUME（CH B）
   リアパネルにある CH B から出力される信号レベルを調整します。ツマミが 10 の位置でリファレンスレベルになります。

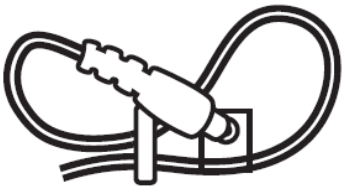
 ©2019 Sound House Inc.

9. POWER
本製品の電源を ON/OFF します。

## CR288 レシーバー・リアパネル



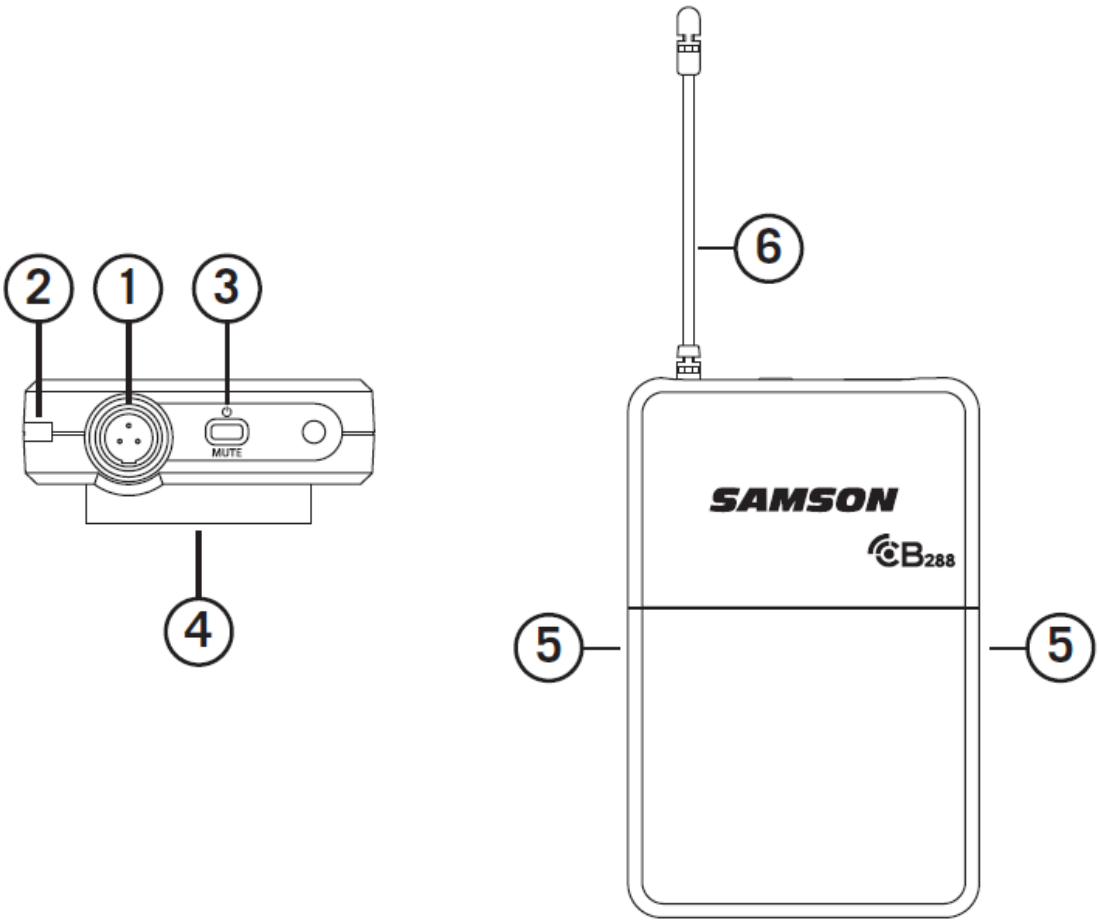

10. POWER DC IN（パワーイン）
電源アダプターを接続します。
11. CH A、B OUT BALANCED（バランス出力）
ロー・インピーダンス（600Ω）の XLR 出力端子（バランス）です。プロ用機器（＋4dBu）と接続するときに使用します。
ピン配列：ピン 1（グラウンド）、ピン 2（ホット）、ピン 3（コールド）
12. MIX OUT UNBALANCED（アンバランス出力）
ハイ・インピーダンス（5ｋΩ）のフォン端子（アンバランス）です。民生機器（－10dBV）と接続するときに使用します。CH A と CH B のミックス信号が出力されます。
ピン配列：ティップ（ホット）、スリーブ（コールド）



左図のように、電源アダプターのケーブルを固定金具に通すと、抜けを防止することができます。

 ©2019 Sound House Inc.

CB88/CB288 ベルトパック型トランスミッター



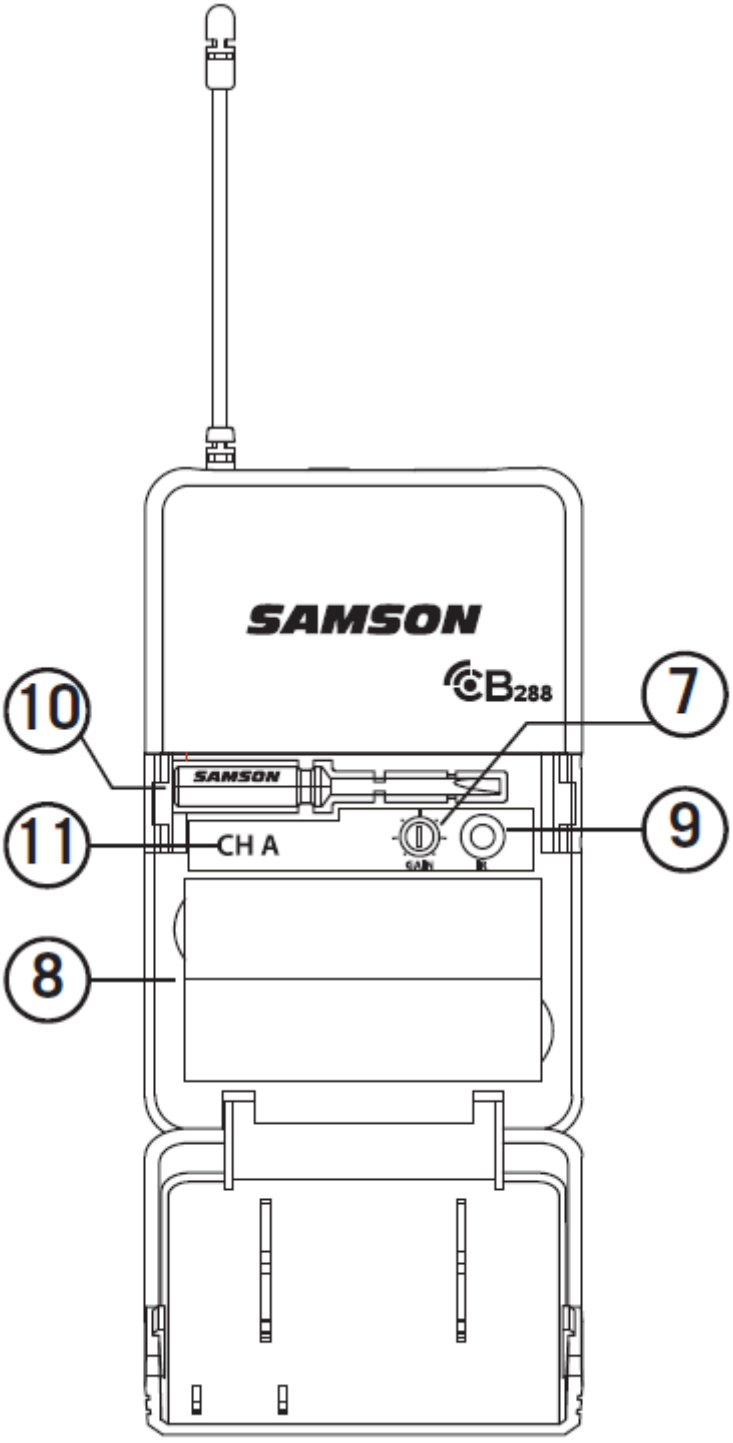

1. 入力端子（ミニ XLR）
   ヘッドセットマイクや楽器接続用のケーブルを接続します。
2. ステータス LED
   動作モードを表示します。

| | |
|---|---|
| 緑 | 正常動作 |
| 赤 | ミュート |
| 緑点滅 | バッテリー残量低下 |

3. MUTE
   長押し：電源を OFF にします
   短く押す：ミュートします
4. ベルトクリップ
   トランスミッターをベルトやギターストラップに取り付けます。

 ©2019 Sound House Inc.

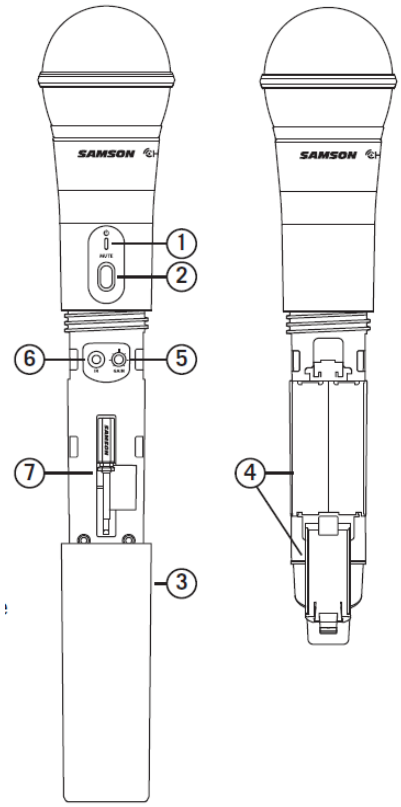
5. バッテリーカバー
   両端のつめを押してカバーを開きます。
6. アンテナ
   フルに伸ばした状態で使用してください。




 ©2019 Sound House Inc.

7. GAIN
   マイクや楽器の入力ゲインを調整します。付属のドライバーを使用して GAIN を調整します。PEAK が点灯した後、再び点灯しないように少しゲインを下げてください。
8. バッテリーホールダー
   単 3 電池 2 本を使用します。極性に注意して装着してください。Ni-Cad 電池を使用する際は、4 時間以上の使用は避けてください。
9. IR レンズ
   赤外線通信によりトランスミッターのチャンネル設定を受信します。
10. ドライバー
    GAIN 調整に使用します。

## CH88 / CH288 ハンドヘルド型トランスミッター




1. ステータス LED
   動作モードを表示します。

| | |
|---|---|
| 緑 | 正常動作 |
| 赤 | ミュート |
| 緑点滅 | バッテリー残量低下 |

2. MUTE
   長押し：電源を OFF にします
   短く押す：ミュートします
3. バッテリーカバー
   回しながら外します。
4. バッテリーホールダー
   単 3 電池 2 本を使用します。極性に注意して装着してください。Ni-Cad 電池を使用する際、4 時間以上の使用は避けてください。
5. GAIN
   マイクや楽器の入力ゲインを調整します。付属のドライバーを使用して GAIN を調整します。PEAK が点灯した後、再び点灯しないように少しゲインを下げてください。
6. IR レンズ
   赤外線通信によりトランスミッターのチャンネル設定を受信します。
7. ドライバー
   GAIN 調整に使用します。

 ©2019 Sound House Inc.

注意

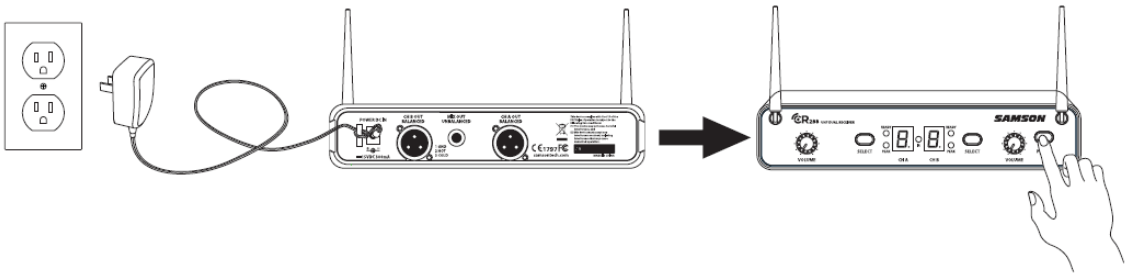
CH88 / CH288 ハンドヘルド型トランスミッターは、使用チャンネルの区別が容易につくように色分けがされています。

| | アンテナ | グリル |
|---|---|---|
| CH A | 黒 | 黒 |
| CH B | シルバー | シルバー |

## クイック・スタート

ワイヤレスシステムが正しく動作するためには、レシーバーとトランスミッターが同じチャンネルにセットされている必要があります。

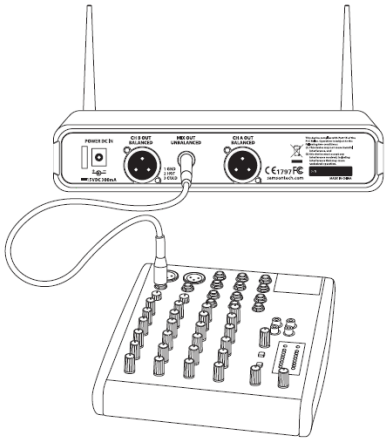
1. CR88/288 レシーバーを使用する場所に設置し、アンテナを垂直に立てます。経験から、レシーバーとトランスミッターは障害物がなく、直見通しのよい線上にある必要があります。
2. レシーバーの電源を切った状態で付属の電源アダプターを接続してください。



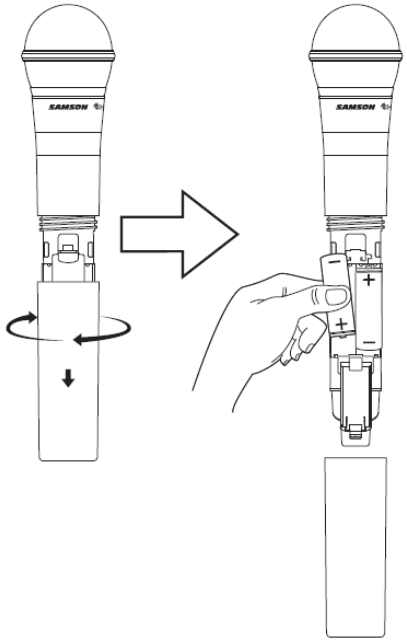
CR288 の場合

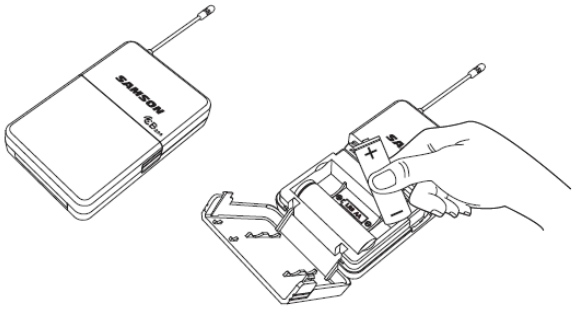
3. アンプやミキサーの音量が下がっている状態で、レシーバーの出力と機器のライン入力をケーブルで接続します。
4. レシーバーのボリュームを絞った状態（反時計回り一杯に回す）で電源を ON にしてください。

 ©2019 Sound House Inc.



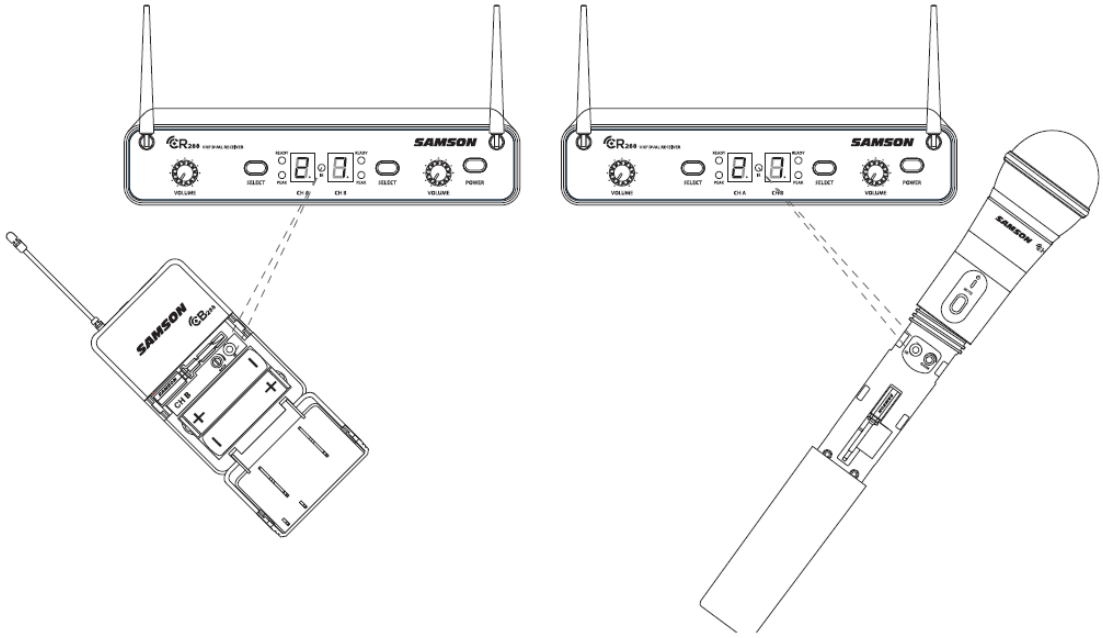
5. CB88/CB288 トランスミッターの電源が OFF の状態で、単 3 電池 2 本をベルトパック型トランスミッター、またはハンドヘルド型トランスミッターに装着します。バッテリーカバーは開けたままにします。





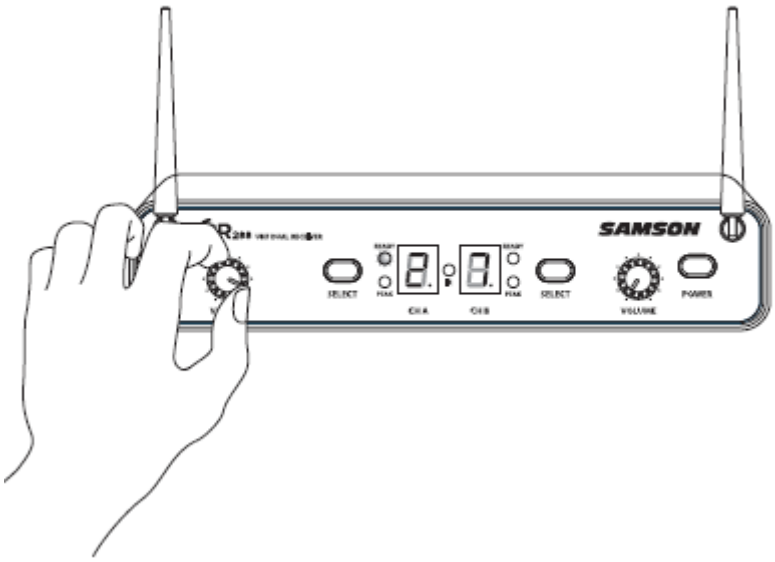
6. MUTE スイッチを長押ししてトランスミッターの電源を ON にすると、ステータス LED が緑色に点灯します。
7. レシーバーの SELECT ボタンを押し、チャンネルを選択します。チャンネルは 1 回押す度に変わって行きます。(0 → 9 → A → F)
   CR288 の場合は 2 つのチャンネルをそれぞれ別の番号に設定してください。
8. レシーバーの SELECT ボタンを長押しします。
9. レシーバーの CH 表示が点滅を始めたら、指を離し、トランスミッターの SELECT ボタンを押します。

※この時、トランスミッターの IR ポートとレシーバーの IR ポートを 15～30cm の距離に近づけてください。



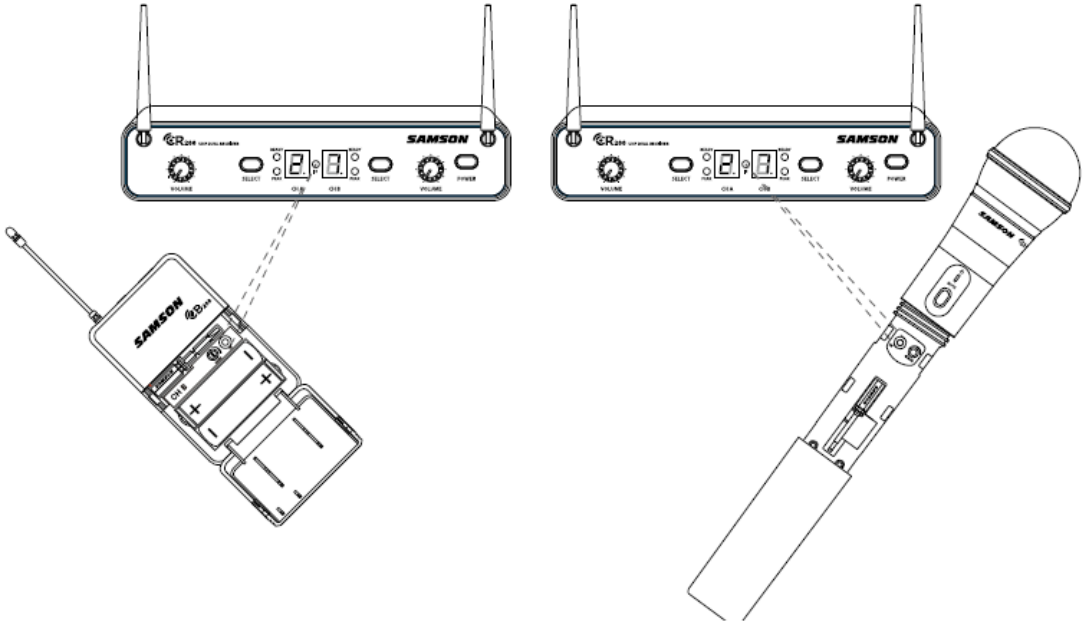

10. 赤外線通信が完了すると READY LED が点灯します。
※CR288 の場合は 2 つのチャンネル A、B をそれぞれ行ってください。

11. 接続している機器の電源を入れます。このとき、機器の音量は下げたままにしてください。
12. ボリュームツマミを最大（10）まで回してください。これがユニティーゲインになります。



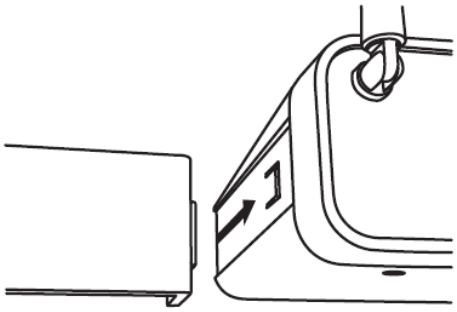

13. マイクを使用して音を出してみてください。アンプやミキサーの音量をゆっくり適切なレベルまで上げてください。

※音切れやノイズが発生している場合、使用しているチャンネルを変えてみてください。
同じ周波数バンドで複数のシステムを使用する場合、それぞれのシステムは別々のチャンネルに設定する必要があります。
赤外線通信を行うとき、他のユニットとペアリングされないように、設定するユニット以外のトランスミッターのフタは閉め、距離を離してください。




## ラックマウント

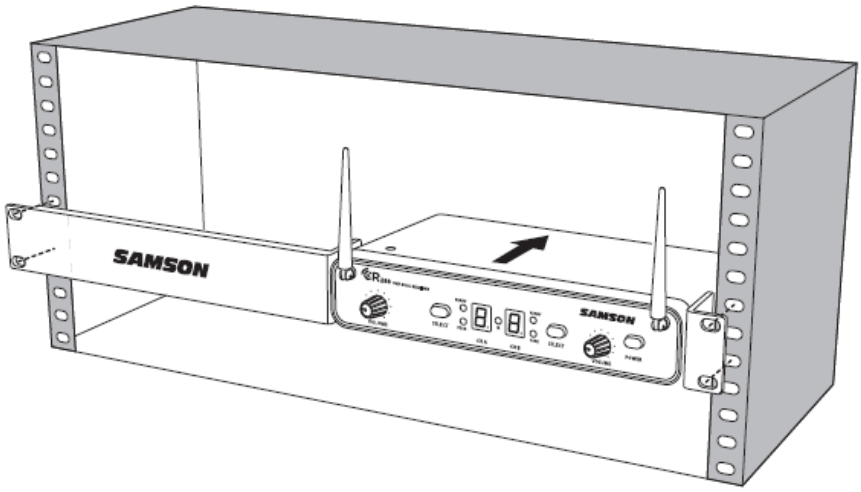
レシーバーは付属のラックマウント金具を使用して 19 インチラックに取り付けることができます。



 ©2019 Sound House Inc.

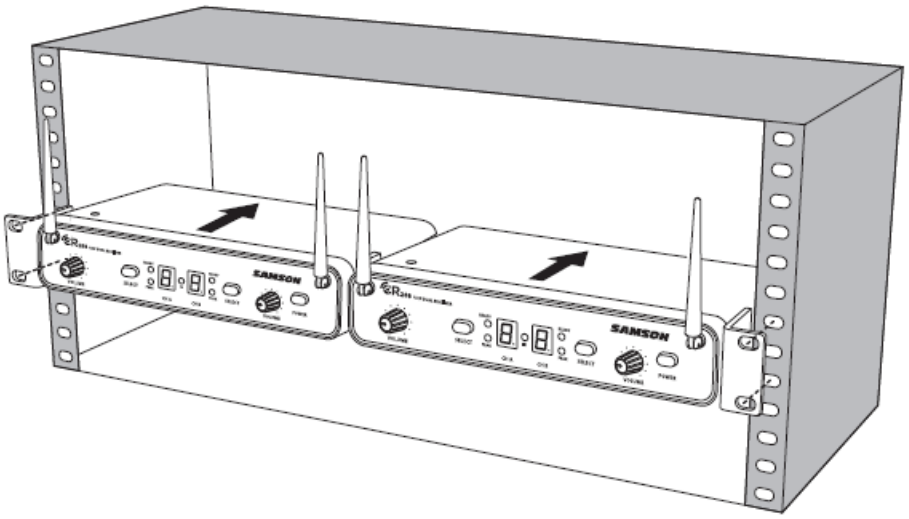
## CR88／CR288 1 台をラックマウントする場合

ロングとショートの金具を 1 つずつ使用します。それぞれをロックするまで本体側面の溝にスライドして取り付けてください。




## CR88／CR288 2 台をラックマウントする場合

連結用アダプターを使用し、2 台のレシーバーをつなげます。ショートの金具を 2 つ使用します。それぞれをロックするまで本体側面の溝にスライドして取り付けてください。




 ©2019 Sound House Inc.

## チャンネル・プラン

| group(B)japan 806-810 | | | |
|---|---|---|---|
| CH | freq | ch plan | Group |
| 0 | 806.125 | B11 | 1 |
| 1 | 806.375 | B12 | |
| 2 | 807.125 | B13 | |
| 3 | 807.750 | B14 | |
| 4 | 809.000 | B15 | |
| 5 | 809.500 | B16 | |
| 6 | 806.250 | B21 | 2 |
| 7 | 806.500 | B22 | |
| 8 | 807.000 | B23 | |
| 9 | 807.875 | B24 | |
| A | 808.5 | B25 | |
| B | 808.875 | B26 | |
| C | 806.625 | B31 | 3 |
| D | 806.875 | B32 | |
| E | 807.375 | B33 | |
| F | 808.25 | B34 | |

※複数台の CR88 や CR288 を組み合わせて使用する場合、必ず全て同じグループ B1X、B2X…）に設定してください。
※推奨例（4 波の場合）: 0、1、4、5
6 チャンネル以下の複数台で使用する場合、同グループ内でも freq を離すと、より安定性が高まります。
※他機種／他メーカー品との併用は電波干渉を起こす恐れがあります。
※B11～B16、B21～B26、B31～B34 の 3 グループになります。

 ©2019 Sound House Inc.

## トラブルシューティング

| 問題 | 解決方法 |
|---|---|
| 音が出ない | トランスミッターとレシーバーの電源が入っていることを確認してください |
| | トランスミッターの電池が正しく装着されていることを確認してください |
| | トランスミッターがミュートされていないか確認してください |
| | レシーバーの電源アダプターが正しく接続されているか確認してください |
| | レシーバーの電源が入っていることを確認してください |
| | レシーバーのオーディオ出力が正しく接続されていることを確認してください |
| | レシーバーとトランスミッターの間に障害物がないか確認してください |
| | レシーバーのボリュームとトランスミッターのゲインを確認してください |
| | トランスミッターとレシーバーが同じチャンネルにセットされているか確認してください。不明な場合は、IR ペアリングによりチャンネル設定を再度行ってください |
| 音が歪む | レシーバーの出力レベル、トランスミッターの入力 GAIN を調整してください |
| | トランスミッターの電池をチェックしてください |
| | 音源の音量を調整してください |
| 音が途切れる | トランスミッターとレシーバーを近づけてください。アンテナの位置を調整してください |
| | モバイルフォン、コードレス電話、照明機器、コンピューター、金属製のものを遠ざけてください |
| トランスミッターの電源が入らない | トランスミッターの電池を交換してください |
| ノイズや混信が起こる | 複数のシステムを使用している場合、全てのシステムが違うチャンネルを使用していることを確認してください |

 ©2019 Sound House Inc.

SAMSON®

 ©2019 Sound House Inc.